

甲府盆地無線倶楽部第四代役員

会 長 JG1SYM

副 会 長 JA1KMC

" JG1CVW

事 務 局 JI1IJY

会 計 JM1IBM

<各担当部員>

企 画 部長 JK1MSG

JF1KRV

JL1RXK

JM1IVO

JO1JIO

広 報 部長 JI1VEP

JK1PMB

JO1KKY

技 術 部長 JE1EBI

JA1VHD

JI1WNA

JI1SJE

JO1HGF

日 赤 部長 JJ1TLL

JE1OVV

JN1FNE

運 用 部長 JK1MSU

JK1JJX

JI1SJE

Q S L 部長 JJ1XZT

JJ1XTF

JM1IAX

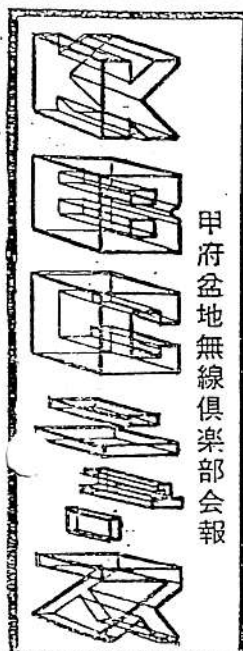
スポーツ 部長 JJ1XTE

JJ1VUD

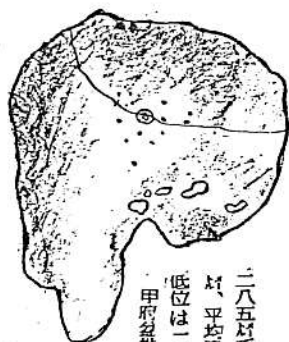
JO1KLC

会計監査 JA1BDE

任期は昭和57年2月1日から昭和58年1月31日までとする。



甲府盆地無線倶楽部会報

二八五メートルである
平均高度は
低位は二五〇
甲府盆地の概

新 会 長 の 言 葉

今期、不才不敏な私が会長の椅子を汚すことになりました。皆様の御協力を仰ぎたく筆を取りました。すでに御承知の方もありますが、私は会発足時の一人ではありますが、OM諸氏の御指導の基に、かろうじて会員として在籍させて載いた若輩者であり、当クラブの会長の重職に就く等とは如何かと躊躇致しました。しかし、前期副会長をやらせて載きました関係上熟考の上、お引受けする事に致しました。一年間微力ながら全力で役目を全うする様努力致しますので、皆様の絶大なる御協力を懇願致します。

就任に際して、私が特に考えている事を一つだけあげて、皆様の御教示を仰ぎ度いと思います。それは「ロールコールの出席率を高めよう」ということです。当会は、「ハムライフを楽しむ」という心を同じくする者の交わりの会であります。又、会員相互の修養、勉強、向上、親睦の機関と考えます。発足から5年、皆様の建設的な努力の結果がすばらしい成果をもたらし、県下でも一応名のあるクラブに発展し、会員数も発足時の約4倍になりました。会員数が増えるに従い、会員相互のQSO出来る時間帯も各々違うが為に意志の疎通を図る機会も少なくなりつつあるのではないのでしょうか。意志の疎通を図るにはどのようにしたら？と考えます。お茶を飲みながら話し合いを持つ事、これに勝るものはありませんが、互に仕事を持っていますので、長くは続けられません。

幸い無銭家ですので、お茶を飲まずにQSOが出来ます。が、QSO出来る機会も朝とか昼とか夜とか時間帯が制約されてしまう方等種々様々だと思います。私自身お空に出ようと思っけていてもなかなか出られないのが現状です。しかし甲府盆地無線クラブでは、発足時から三百数十回続けられているロールコールがあります。このロールコールに出席することにより、自局の一声一声が全会員の声になり、全員のこんにちの様子解るという誠にすばらしい機会があるのではないのでしょうか。この機会をのがさずに、おいに自局のPRをしてください。PRにより互に意志の通ずる事が出来る一つの手段として活用出来るのではないかと思います。このようにロールコー

ルは捨てがたい長所をもたらせています。

いろいろと各位の御都合もあり事情をも推察は致しますが、今期はロールコールの出席率を上げるべく、是非御努力と御協力をお願い致します。

最後に、今迄同様甲府盆地無線クラブの繁栄の為、皆様の御協力と役員一同無事務まりますよう御指導、御鞭撻の程よろしくお願い致します。

(会長 J G 1 S Y M)

“ 甲府盆地無線倶楽部 今年もガンバロウ ”

甲府盆地無線倶楽部創立以来、丸く五年がたちました。当時のOM諸氏は、単なる思いつきや、一時の情熱ではなくアマチュア無線が好きで好きでどうしようもない人達で、山梨県の中心甲府盆地のまん中にドツシリとかまえ「山梨に甲府盆地無線倶楽部あり」と誇れるクラブの創設を考えたのでした。歴代の会長を始めとする役員の献身的な努力と、会員の協力で、今や押しも押されぬ立派なクラブに成長してきました。私もひとりの会員として誇りに思います。

甲府盆地無線倶楽部の誇れる特徴のひとつは紳士の集まりであり、創立以来の民主主義的運営だと思います。徹底した討論の中から、みんなで決めたことはみんなで実行、そして協力することだと思います。そして特徴の第二は、会員相互の友情と信頼で結ばれているということです。いろいろな職業の人がいて、いろいろな年代の人がひとつのクラブの中で、互いに敬意をはらい、時にはよき相談相手として又、よきアドバイザーとして活躍されていることだと思います。したがって趣味の世界の集まりといっても、それ以上に145・40 M Z で交信することによって、仕事やその他のストレスが解消し、毎日の仕事の活力が生まれてくる……そんな気がするということです。第三の特徴は、当クラブは大世帯になったというものの創立5年で30局余の会員です。すなわち、水ブクレのクラブではなく会員一人ひとりが自覚した、中身の濃い会員の集まりだということです。250回目前の毎週のロールコール、定期のグランドミーティングそして年間のたくさんの行事を消化していく活力は誇りに出来ると思います。この様な甲府盆地無線倶楽部の事務局をおおせつかったことは、任務の重さに、無事に務まるかどうか心配ですが、クラブの為そして会員の為、精一杯努力をして今までの事務局のみなさんがやってこられた実績を無に帰さないようがんばりたいと思います。幸い、会長J G 1 S Y Mは頼りになるOMなので、二人三脚というよりも当局は頼りっぱなしになるかもしれません、よろしくお願い致します。

(事務局 J I 1 I J Y)

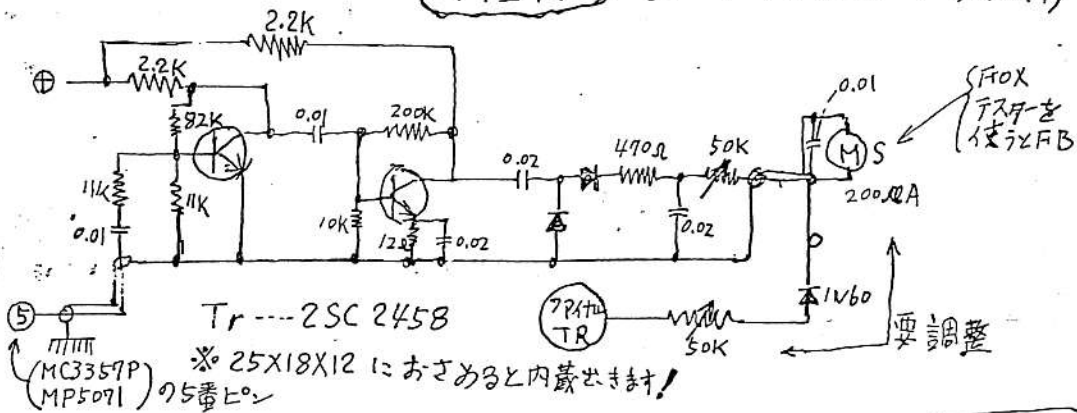
雑 感

日本に生まれ、日本に育った私達日本人は、みな友達であり、みな良き兄弟であると同時に、同じ共通の日本人つまり人間である。

人間であるという事は、一般に大気の空気を吸い、そして二酸化炭素を出す。ごく普通のことだけれど、これが重要なポイントだと思う。つまり“生”いきる、いかす生む、生まれる、おう、はえる、き、な、ま…字画で五画ある。もうひとつ似ているけれどちょっと違う“姓”がある。うまれつき、天性、物事の性質、傾向、男と女、雄と雌との区別、ロマンス諸語では多くの男性、女性に分け、英語には性の差別はない。生はけがれの無い純粋な生、のちに周囲の環境や言葉、四季によって生命は長くも短かくにもなる。後者の姓は愛とロマンス、知性的な事によって心まで変わりやすくなる。これが性質ではないだろうか？。にくしみ、いかり、かわいい、うらみ、心朝起きてから夜ねるまで、まったく同じ心で通せる心があったら、一日が何んともおもしろおかしくない。天気にも、晴れ後雲り後一時にわか雨なんて、天気も変わりやすい。いや……心ってぐるぐる回る回転灯みたいなもんだなと、青空を見つめながら午後の仕事に又精をだす J10 です。

(JO1J10)

1C-2N・3N用 S-M-A-R-F-T-回路図 (AT-208・TR-25000)
JM1 IVO (ワ-ルト・ラボ社 S-M-A-基板より)



コンデンサ-2マイアンフ
R=2~2.2KΩ (2M1=FB)
C=4.7μF 9~9μ
Tr=2SC2485 (C1362, C2785, C2051) 10

トリオ TR 9000 (説) (箱) (保) 一式付 = 50K

ご希望の方は
JM1 IVO まで